

おかえりなさい橋本先生！

G 探の1期生が、教育実習で母校に帰ってきました！

教壇に立ち授業をする橋本先生



G 探の1期生が山田高校を卒業した令和4年の春から、はや4年。今年の6月に、なんと1期生のうちの1人が教育実習生として、山田高校に戻ってきてくれました！

その1期生の名は「橋本剛」。今号では、「橋本先生」として3週間の実習に挑む彼にインタビューしてみました。（取材日：6月15日）

——教育実習生として母校に戻ってきて感じる、楽しいことと大変なことを教えてください！

橋本先生（以下「橋」）…楽しいことは、母校に「卒業生」として帰ってこられたことですね。校舎を歩くだけで、懐かしい気持ちになります。

グローバル探究通信

06 号



YAMADA_GLOBAL

インスタ
やってます
Follow us!

「先生」という立場で授業ができることも楽しいです。人に教えることはもともと好きなのですが、**教育実習生として教壇に立てていることに喜びを感じています。**と同時に、これまで私を育ててくれた先生方や周囲の人たちへの感謝が、改めて溢れてくる毎日です。

大変なことは、時代に合わせた「授業計画（指導案）」を立てることでしょうか。授業スタイルは大きく変化しているので、ベストな指導法をゼロから考案するのが大変です。

——橋本先生はホーム実習を2・3Hで行っていますが、クラスの雰囲気や、先生・学校全体の印象は？

橋…2・3Hはメリハリがあり、共に高め合える素敵な雰囲気を持っているなど感じています。先生方や学校全体の印象は、高校生だった頃と変わりません。温かく大らかで頼りになる先生方が多く、生徒の皆さんと信頼関係が築かれているのを改めて実感しています。

——橋本先生がいたころのG探と今とで、違いは感じますか？

橋…人数が増え、学科がさらに活気づいているのを肌で感じます。人数が増えただけでなく、後輩の皆さんが自分の強みを活かし、多様な進路

に挑戦している姿が印象的です。1期生としてG探のスタートを見届けた身として、G探が時代に合わせて進化した、夢を支える場所に育っていることに、誇らしい気持ちでいっぱい입니다。

——なるほど、なんだか嬉しいですね。では、G探で過ごした3年間のうち、印象的な思い出といえば？

橋…私たちの代はコロナの影響が最も大きい代で、常に感染の不安と隣り合わせの学校生活でした。マスクの常時着用、教室の消毒、黙食。ただ、そんな厳しい状況下だったからこそ、**部活動や探究活動、学校行事を通じて「コロナによって制限されてしまった日常を、全力で取り戻そう！」と奮闘しました。**逆境に負けず、限られた中で今できる最大限のことにエネルギーを注ぎ込んだ毎日は、私にとって一生忘れることのない大切な思い出です。



ショートホームルーム
で伝達を行う橋本先生

——懐かしいですね……（しみじみ）。さて、話は変わりますが、先生の在籍大学や学科は、どんなところですか？

橋…「**高知大学 理工学部 数学物理学**」に在籍しています。文字通り、数学という学問を専門的に追究している場所です。現在は「**確率**

過程論に基づく数理ファイナンス」を主に勉強しています。数学の理論を、株価や保険、デリバティブ（金融派生商品）といった金融商品の適切な価格付けの仕組み等に応用する、非常に実用的な分野です。ここは、数学そのものが持つ奥深さや、筋道を立てて考える「論理的思考」が好きな人には、間違いない最高の学科ですよ！ 私自身、大学数学特有の考え方に慣れるまでは苦戦しましたが、本質が理解できるようになると一気に世界が広がり、今は本当に楽しく勉強しています。

——イキイキしている姿が目につきます。では最後に、G探生にメッセージをお願いします。

橋…何よりも「**今、この瞬間という毎日を全力で楽しんでほしい**」と伝えたいです。今、皆さんの周りには熱心に向き合ってくれる先生方がいて、切磋琢磨できる仲間がいます。このように「誰かに教えてもらえる環境」があることに感謝の気持ちをもちながら、一歩ずつ努力を重ね、共に過ごす周りの友人を大切にしたいと思っています。これから先、大変なことも悩むこともあるかもしれませんが、**笑顔と絶やさず、日々の学校生活を乗り切るものにしていきましょう！**

——橋本先生、お忙しい中ありがとうございました！ ますますのご活躍をお祈りしております。